香川県プランクトン情報（第 23 報赤潮臨時調査）

令和 8 年 8 月 19 日発行

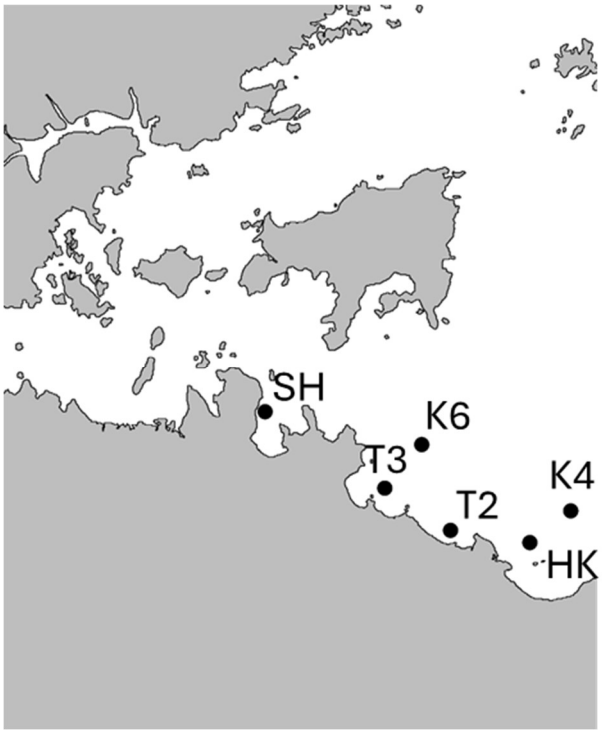
【概況】
・シャットネラ･オバータとカレニア･ミキモトイがみられましたが、いずれも少数でした。
・珪藻もあまり多くない状況です。

表：2026 年 8 月 19 日　有害・有毒プランクトン調査結果（表層海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深（m）	シャットネラ･アンティカ	シャットネラ･マリーナ	シャットネラ･オバータ	カレニア･ミキモトイ	コクロディニウム･ポリクリコイデス	At complex（旧）*A. tamarense*（旧称アレキサンドリウム･タマレンセ）	At complex（旧）*A. catenella*（旧称アレキサンドリウム･カテネラ）
KA4	2	0	0	0	0	0	0	0
HK1	2	0	0	0	0	0	0	0
T2	2	0	0	0.3	0	0	0	0
T3	2	0	0	0	0	0	0	0
K6	2	0	0	0	1.0	0	0	0
SH	2	0	0	0	0	0	0	0

【有害･有毒プランクトンに関するお問い合わせ】
香川県農政水産部　赤潮研究所（担当：吉田･松下）　電話 087-843-6511
香川県農政水産部　水産課豊かな海づくり･漁港整備グループ（担当：澤田･秋山）　電話 087-832-3470

図：調査点



【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL （2 種の合計値）	10 細胞/mL （2 種の合計値）
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ	1 細胞/mL	10 細胞/mL
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	−	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	−	50 細胞/mL